

パリ第8大学・東京大学シンポジウム

大学における人文科学の未来

L' Avenir des Sciences Humaines à l' Université

2009年12月19日(土) 10:00-17:30 samedi 19 décembre, 2009

東京大学駒場キャンパス 18号館ホール Auditorium, Bâtiment 18, Campus de Komaba, Université de Tokyo

主催責任: Patrick DE VOS, Pierre BAYARD 使用言語: 日本語・フランス語(同時通訳付) 入場無料、事前登録不要

午前の部

- 10.00-10.05 趣旨説明 Patrick DE VOS
10.05-10.15 開会の挨拶
10.15-10.45 Pascal BINCZAK パリ第8大学学長(法学)
「大学の危機と人文社会科学」
« La crise universitaire et les sciences humaines et sociales »
10.45-11.15 小林康夫
「駒場キャンパスにおける人文科学の研究教育の試み」
11.15-11.45 Elisabeth BAUTIER パリ第8大学副学長(社会学・教育学)
「人文社会科学に於ける基礎研究と応用研究」
« Recherche fondamentale et recherche appliquée en sciences
humaines et sociales »
11.45-12.15 討論

午後の部

- 司会: Patrick DE VOS, Pierre BAYARD
コメンテーター: 小林康夫、Julien de SAINT-JORES
14:00-14:30 Danielle TARTAKOWSKY (歴史学)
「パリ第8大学に於ける人文社会科学の学際性」
« L' interdisciplinarité en sciences humaines et sociales à Paris 8 »
14:30-16:00 Table ronde パネル・ディスカッション
・精神分析: 原和之、Pierre BAYARD
・文学研究・批評理論: 山田広昭
・記号論: Denis BERTRAND ・表象文化論: 田中純
・ジェンダー研究: 清水晶子 ・哲学: 高橋哲哉
16.20-17.15 Table ronde (続)
17.15-17.30 閉会の辞 小林康夫

主催: パリ第8大学、東京大学グローバル COE 「共生のための国際哲学教育研究センター (UTCP)」